

□には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 グループホーム ひろむし

日 付 平成16年7月23日

評価機関名 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

評価調査員 在宅介護支援センター等での相談援助歴11年
特別養護老人ホームでの痴呆性高齢者介護歴4年

自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）

評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）

事業者のコメントを見る
（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）

外部評価の結果

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

落ち着いた自然に恵まれた環境の中にあり、穏やかな雰囲気で過ごすことができている。また、音楽療法を取り入れ、入居者の生活の向上を目的とした様々な取り組みがなされている。
利用料金も、入居者、家族にとって、利用しやすい低料金で設定されている。

特に改善の余地があると思われる点

特別養護老人ホームが併設されていることもあってか、室内装飾等建物の作りが施設の延長と思われるところがあるので、家庭的雰囲気をより一層出す工夫がほしい。

入居者の状況について十分に記録されているが、その為にかかなりの時間を費やしており、効率化をはかるうえでも、情報の共有化に向けて検討が必要と思われる。

今後は家族との連絡は書面だけでなく、直接家族と話せる機会をつくり、家族からの意見を多く受け止めることができる体制づくりが望まれる。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	理念として「痴呆状態にある高齢者に対し、適正な処遇を提供することを目的とし、家庭的な環境の下で入浴、食事等の介護その他の日常生活上の世話等を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように援助をおこなうこと。」と掲げ、家族が安心して預けられるようなホームを目指している。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	部屋に居たい人は部屋で過ごすことが出来る様に、また外に出たい人には寄り添って外出できるようになど、入居者の行動にあわせた援助をしている。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援		○

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		○
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援		○
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	入居者の持てる能力維持のため、今までの経験や能力を生かし、食事などの生活のあらゆる場面で、協力してもらっている。 一人ひとりの入浴や、各部屋に設置されたトイレなどでプライバシーの保護に心がけている		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		○
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	日頃から事故報告書を作成し、その内容を職員間で共有するとともに、それを生かし、サービス提供の過程で問題が発生しないよう心がけており、その取り組みがサービスの質の向上につながっていると考えられる。また、週2回の音楽療法を取り入れるなど、入居者の精神面でのケアにも重きを置き、安心して暮らせる環境づくりに努力している。		